

サイト情報

横浜ゴムの生産事業所



平塚製造所



平塚製造所(ハマタイ工場)



三重工場



三島工場



新城工場



尾道工場



茨城工場

横浜ゴムのグループ会社



ヨコハマタイヤ・フィリピン



横浜ハイデックス

本 社



平塚製造所

DATA

生産品目: 航空機用タイヤ、ベルト、ゴムライニング製品、防舷材、止水製品、その他工業品、航空機用部品、スポーツ用品、建築用・自動車用シーリング材

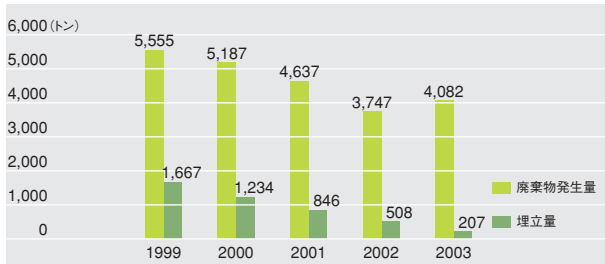
敷地面積: 337,911m²

従業員数: 1,655人(2004年3月)

所在地: 〒254-8601 神奈川県平塚市追分2番1号 TEL. 0463 (35) 9505

平塚製造所はハマタイト工場(平塚市四之宮)を含んだ総称です。

廃棄物発生量と埋立量



大気関係測定データ(主要施設)

施設名称	項目	規制値	2003年度実績値		
			平均	最大	最少
平塚製造所	窒素酸化物濃度(ppm)	80	63	72	56
ボイラー	ばいじん量(g/h)	371	5.1	8.3	1.2
平塚製造所	窒素酸化物濃度(ppm)	45	32	37	26
新設ボイラー	ばいじん量(g/h)	463	1.6	2.5	0.6
平塚製造所	窒素酸化物濃度(ppm)	20	15	17	12
コージェネレーション	ばいじん量(g/h)	2176	179	270	76
ハマタイト工場	窒素酸化物濃度(ppm)	60	34.5	37	33
ボイラー	ばいじん量(g/h)	272	1.75	1.8	1.7未満

法律名称等: 大気汚染防止法、神奈川県条例

水質関係測定データ(主要排水)

排水口名	項目	規制値	2003年度実績値		
			平均	最大	最少
平塚製造所	PH	5.7~8.7	7.9	8.5	6.3
排水	BOD濃度(mg/l)	300	59.5	200	5.0
	SS濃度(mg/l)	300	51.3	150	4.0
	油分濃度(mg/l)	30	4.3	16.0	1.0未満
ハマタイト工場	PH	5.7~8.7	8.1	8.5	7.1
排水	BOD濃度(mg/l)	300	36.6	70	6.0
	SS濃度(mg/l)	300	42.3	90	5.0
	油分濃度(mg/l)	30	3.2	5.0	1.0未満

法律名称等: 平塚市下水道条例

PRTR対象物質(単位:トン/年)

平塚製造所

物質名	取扱量	大気排出量	公共用水域排出量	土壌排出量	自己埋立処分量	廃棄物移動量	公共下水道移動量	処理施設移動量
N-シクロヘキシル-2-ベンゾチアゾールスルフェンアミド	124.2	0	0	0	0	2.3	0	0
N-(tert-ブチル)-2-ベンゾチアゾールスルフェンアミド	93.0	0	0	0	0	1.4	0	0
フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	72.3	0	0	0	0	3.2	0	0
トルエン	68.7	9.4	0	0	0	0.62	0	0
キシレン	51.9	2.8	0	0	0	0.01	0	0
アジピン酸ビス(2-エチルヘキシル)	45.9	0	0	0	0	2.0	0	0
1,1-ジクロロ-1-フルオロエタン(HCFC-141b)	36.3	34.1	0	0	0	2.2	0	0
ビスフェノールA型エポキシ樹脂	29.5	0	0	0	0	2.58	0	0
エチレンリコールモノメチルエーテル	12.5	9.2	0	0	0	3.2	0	0
アンチモン及びその化合物	8.1	0	0	0	0	0.38	0	0
トリクロロエチレン	7.4	3.3	0	0	0	4.1	0	0
テトラメチルチウラムジスルフド(チウラム)	5.5	0	0	0	0	0.25	0	0
鉛及びその化合物	4.8	0	0	0	0	0.34	0	0
フタル酸ジ-n-ブチル	3.2	0	0	0	0	0.185	0	0
ホルムアルデヒド	2.7	0	0	0	0	0.120	0	0
ベンゼン*	2.7	0.0078	0	0	0	0	0	0
コバルト及びその化合物	2.5	0	0	0	0	0.05	0	0
エチルベンゼン	2.3	0.10	0	0	0	0	0	0
ヘキサメチレンテトラミン	1.9	0	0	0	0	0.082	0	0

* 取扱量0.5トン/年以上

ハマタイト工場

物質名	取扱量	大気排出量	公共用水域排出量	土壌排出量	自己埋立処分量	廃棄物移動量	公共下水道移動量	処理施設移動量
フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	741.4	0	0	0	0	6.02	0	0
フタル酸n-ブチル=ベンジル	463.6	0	0	0	0	0.23	0	0
m-トリレンジイソシアネート	334.3	0	0	0	0	0	0	0
トルエン	155.7	1.89	0	0	0	14.45	0	0
ビスフェノールA型エポキシ樹脂	121.7	0	0	0	0	1.34	0	0
3,3'-ジクロロ-4,4'-ジアミノジフェニルメタン	64.4	0	0	0	0	0	0	0
マンガン及びその化合物	62.2	0	0	0	0	0.56	0	0
キシレン	51.0	0.10	0	0	0	0.41	0	0
エチルベンゼン	20.2	0.040	0	0	0	0.16	0	0
アジピン酸ビス(2-エチルヘキシル)	17.9	0	0	0	0	0.07	0	0
有機スズ化合物	16.5	0	0	0	0	0.53	0	0
フェノール	15.0	0	0	0	0	0.12	0	0
クロロベンゼン	14.3	0.002	0	0	0	0.01	0	0
チウラム	7.7	0	0	0	0	0.07	0	0
1,3,5-トリメチルベンゼン	7.4	0.015	0	0	0	0	0	0
鉛及びその化合物	6.6	0	0	0	0	0	0	0
ヘキサメチレン	6.5	0	0	0	0	0	0	0
=ジイソシアネート								
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩	1.7	0	0	0	0	0.01	0	0
6価クロム化合物*	0.9	0	0	0	0	0	0	0

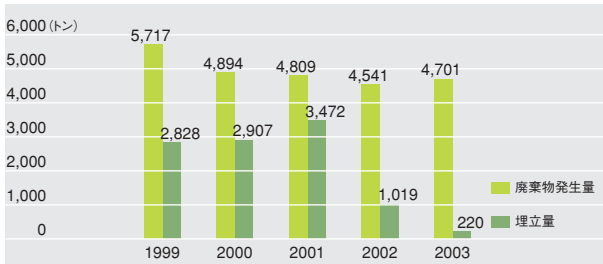
* 取扱量0.5トン/年以上

三重工場

DATA

生産品目: トラック・バス用、乗用車用、小型トラック用、
産業車両用タイヤ
敷地面積: 268,694m²
従業員数: 874人(2004年3月)
所在地: 〒516-8530 三重県度会郡御菌村高向1038番地
TEL. 0596 (28) 3151

廃棄物発生量と埋立量



大気関係測定データ(主要施設)

施設名称	項目	規制値	2003年度実績値		
			平均	最大	最少
ボイラー	硫黄酸化物排出量(Nm ³ /h)	12.3	0.57	1.01	0.23
	窒素酸化物濃度(ppm)	180	151	172	140
	ばいじん濃度(g/Nm ³)	0.1	0.003	0.010	0.001
焼却炉	硫黄酸化物排出量(Nm ³ /h)	6.2	2.031	2.901	0.714
	窒素酸化物濃度(ppm)	250	68	77	60
	ばいじん濃度(g/Nm ³)	0.3	0.015	0.038	0.001

法律名称等:大気汚染防止法、御菌村・伊勢市公害防止協定

水質関係測定データ(主要排水)

排水口名	項目	規制値	2003年度実績値		
			平均	最大	最少
No. 1 排水	PH	6.0~8.0	7.2	7.5	6.8
	BOD濃度(mg/l)	20	2.3	4.5	0.5未満
	COD濃度(mg/l)	20	1.5	2.4	0.7
	SS濃度(mg/l)	40	2.3未満	11.0	1.0未満
	油分濃度(mg/l)	2	1.0未満	1.0未満	1.0未満
No. 2 排水	PH	6.0~8.0	7.3	7.5	7.1
	BOD濃度(mg/l)	20	1.3	2.5	0.5未満
	COD濃度(mg/l)	20	1.3	2.0	0.7
	SS濃度(mg/l)	40	1.5未満	3.0	1.0未満
	油分濃度(mg/l)	2	1.1未満	2.0	1.0未満

法律名称等:御菌村・伊勢市公害防止協定

PRTR対象物質(単位:トン/年 ただしダイオキシン類はmg-TEQ/年)

物質名	取扱量	大気排出量	公共用水域排出量	土壌排出量	自己埋立処分量	廃棄物移動量	公共下水道移動量	処理施設移動量
N-(tert-ブチル)-2-ベンゾチアゾールスルフェンアミド	535.3	0	0	0	0	6.9	0	0
N-シクロヘキシル-2-ベンゾチアゾールスルフェンアミド	91.9	0	0	0	0	2.58	0	0
トルエン	41.0	28.0	0	0	0	0	0	0
コバルト及びその化合物	30.9	0	0	0	0	0.50	0	0
キシレン	12.6	2.1	0	0	0	0	0	0
ホルムアルデヒド	7.5	0	0	0	0	0	0	0
エチルベンゼン	2.3	0.32	0	0	0	0	0	0
ベンゼン*	1.5	0.25	0	0	0	0	0	0
ダイオキシン類	-	1.7	0.000064	0	0	21.5	0	0

* 取扱量 0.5トン/年以上

ダイオキシン測定データ

施設名称	項目	規制値	2003年度実績
焼却炉	排ガス(ng-TEQ/m ³ N)	10	0.020
	排水水(pg-TEQ/L)	10	0.89
	焼却残渣(ng-TEQ/g)	3	0.00000099
	飛灰(ng-TEQ/g)	3	0.120

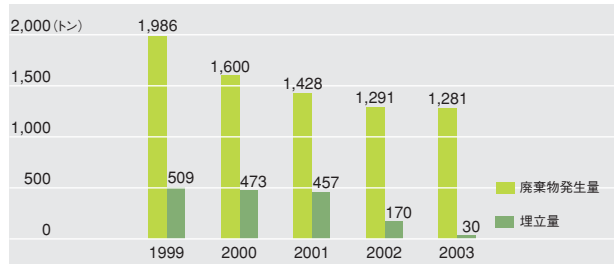
法律名称等:ダイオキシン類対策特別措置法

三島工場

DATA

生産品目: 乗用車用、レース用、小型トラック用タイヤ
敷地面積: 112,375m²
従業員数: 520人(2004年3月)
所在地: 〒411-0832 静岡県三島市南二日町8番1号
TEL. 0559 (75) 0800

廃棄物発生量と埋立量



大気関係測定データ(主要施設)

施設名称	項目	規制値	2002年度実績値		
			平均	最大	最少
ボイラー	窒素酸化物濃度(ppm)	150	35	40	30
	ばいじん濃度(g/Nm ³)	0.1	0.001	0.001	0.001

法律名称等:大気汚染防止法、三島市指導値

水質関係測定データ(主要排水)

排水口名	項目	規制値	2003年度実績値		
			平均	最大	最少
工場排水	PH	5.8~8.6*	8.0	8.6	7.6
	BOD濃度(mg/l)	10	1.3	4.0	0.5
	COD濃度(mg/l)	120*	1.5	2.2	0.9
	SS濃度(mg/l)	20	1.2未満	3.0	1.0未満
	油分濃度(mg/l)	2	2.0未満	2.0未満	2.0未満

法律名称等:三島市環境保全協定、* 水質汚濁防止法

PRTR対象物質(単位:トン/年)

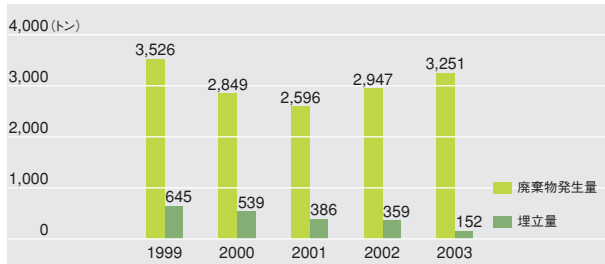
物質名	取扱量	大気排出量	公共用水域排出量	土壌排出量	自己埋立処分量	廃棄物移動量	公共下水道移動量	処理施設移動量
N-シクロヘキシル-2-ベンゾチアゾールスルフェンアミド	228.7	0	0	0	0	0.67	0	0
N-(tert-ブチル)-2-ベンゾチアゾールスルフェンアミド	108.1	0	0	0	0	0.32	0	0
トルエン	27.2	27.2	0	0	0	0	0	0
ヘキサメチレンテトラミン	27.2	0	0	0	0	0.08	0	0
フェノール	12.7	0	0	0	0	0.04	0	0
キシレン	2.7	2.7	0	0	0	0	0	0

新城工場

DATA

生產品目: 乗用車用、小型トラック用タイヤ
 敷地面積: 217,935m²
 従業員数: 745人(2004年3月)
 所在地: 〒441-1343 愛知県新城市野田字古屋敷1番地
 TEL. 05362 (2) 2251

廃棄物発生量と埋立量



大気関係測定データ(主要施設)

施設名称	項目	規制値	2003年度実績値		
			平均	最大	最少
1号ボイラー	硫黄酸化物排出量(Nm ³ /h)	8.2	4.28	4.95	3.7
	窒素酸化物濃度(ppm)	150	130	140	110
	ばいじん濃度(g/Nm ³)	0.2	0.025	0.05	0.015
2号ボイラー	硫黄酸化物排出量(Nm ³ /h)	7.38	4.12	4.54	3.82
	窒素酸化物濃度(ppm)	150	133	140	120
	ばいじん濃度(g/Nm ³)	0.2	0.021	0.045	0.005

法律名称等: 大気汚染防止法、愛知県条例

水質関係測定データ(主要排水)

排水口名	項目	規制値	2003年度実績値		
			平均	最大	最少
No.1排水	PH	5.8~8.6	7.3	7.8	6.5
	BOD濃度(mg/l)	25	2.3	7.4	0.5未満
	COD濃度(mg/l)	25	3.4	4.2	2.5
	SS濃度(mg/l)	30	2.5	4.0	1.0
	油分濃度(mg/l)	5	0.5未満	0.7	0.5未満
No.2排水	PH	5.8~8.6	7.4	7.6	6.8
	BOD濃度(mg/l)	25	1.4	4.3	0.5未満
	COD濃度(mg/l)	25	2.7	4.8	1.8
	SS濃度(mg/l)	30	1.4	3.0	1.0未満
	油分濃度(mg/l)	5	0.5未満	0.5未満	0.5未満

法律名称等: 愛知県条例、公害防止協定

PRTR対象物質(単位:トン/年)

新城工場

物質名	取扱量	大気排出量	公共用水域排出量	土壌排出量	自己埋立処分量	廃棄物移動量	公共下水道移動量	処理施設移動量
N-シクロヘキシル-2-ベンゾチアゾールスルフェンアミド	499.8	0	0	0	0	1.8	0	0
N-(tert-ブチル)-2-ベンゾチアゾールスルフェンアミド	166.1	0	0	0	0	0.39	0	0
ヘキサメチレンテトラミン	38.5	0	0	0	0	0.11	0	0
コバルト及びその化合物	18.9	0	0	0	0	0.17	0	0
トルエン	17.1	17.1	0	0	0	0	0	0
フェノール	17.0	0	0	0	0	0.32	0	0
ホルムアルデヒド	11.5	0	0	0	0	0	0	0
キシレン	1.3	1.3	0	0	0	0	0	0

新城南工場

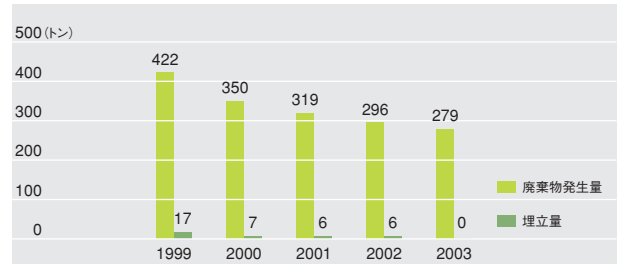
N-(tert-ブチル)-2-ベンゾチアゾールスルフェンアミド	1.7	0	0	0	0	0.01	0	0
---------------------------------	-----	---	---	---	---	------	---	---

尾道工場

DATA

生產品目: 建設車両用タイヤ
 敷地面積: 204,002m²
 従業員数: 181人(2004年3月)
 所在地: 〒722-0051 広島県尾道市東尾道20番地
 TEL. 0848 (46) 4580

廃棄物発生量と埋立量



大気関係測定データ(主要施設)

施設名称	項目	規制値	2003年度実績値		
			平均	最大	最少
ボイラー	硫黄酸化物排出量(Nm ³ /h)	5.0	0.083	0.090	0.074
	窒素酸化物濃度(ppm)	200	74	91	65
	ばいじん濃度(g/Nm ³)	0.1	0.0019	0.0026	0.0013

法律名称等: 大気汚染防止法、広島県・尾道市公害防止協定

水質関係測定データ(主要排水)

排水口名	項目	規制値	2003年度実績値		
			平均	最大	最少
工場排水	PH	5.0~9.0	8.3	8.6	8.0
	BOD濃度(mg/l)	600	140	140	140
	SS濃度(mg/l)	600	43	48	38
	油分濃度(mg/l)	30	17.5	18	17

法規制対象外(自主管理測定)、規制値は尾道市下水道条例

PRTR対象物質(単位:トン/年)

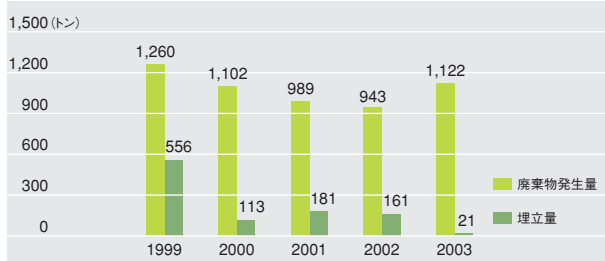
物質名	取扱量	大気排出量	公共用水域排出量	土壌排出量	自己埋立処分量	廃棄物移動量	公共下水道移動量	処理施設移動量
N-(tert-ブチル)-2-ベンゾチアゾールスルフェンアミド	67.1	0	0	0	0	0.035	0	0
N-シクロヘキシル-2-ベンゾチアゾールスルフェンアミド	42.3	0	0	0	0	0.039	0	0
トルエン	4.1	3.4	0	0	0	0	0	0

茨城工場

DATA

生產品目: 高圧ホース、シーリング材
 敷地面積: 152,363m²
 従業員数: 200人(2004年3月)
 所在地: 〒319-0198 茨城県東茨城郡美野里町羽鳥西1番地
 TEL. 0299 (46) 1111

廃棄物発生量と埋立量



大気関係測定データ(主要施設)

施設名称	項目	規制値	2003年度実績値		
			平均	最大	最少
ボイラー	硫黄酸化物(K値)	10	0.195	0.21	0.18
	窒素酸化物濃度(ppm)	250	51.5	55	48
	ばいじん濃度(g/Nm ³)	0.2	0.003	0.004	0.002

法律名称等: 大気汚染防止法、美野里町公害防止協定

水質関係測定データ(主要排水)

排水口名	項目	規制値	2003年度実績値		
			平均	最大	最少
工場排水	PH	5.8~8.6	7.5	8.7	6.8
	BOD濃度(mg/l)	10	1.7未満	9.2	1.0未満
	COD濃度(mg/l)	20	2.8	7.2	1.0未満
	SS濃度(mg/l)	30	1.2未満	18.4	1.0未満
	油分濃度(mg/l)	3	0.5未満	0.7	0.5未満

法律名称等: 茨城県条例、美野里町公害防止協定

PRTR対象物質(単位:トン/年)

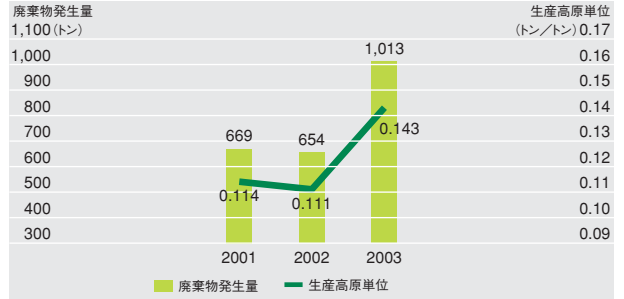
物質名	取扱量	大気排出量	公共用水域排出量	公共土壌排出量	自己埋立処分量	廃棄物移動量	公共下水道移動量	処理施設移動量
ヘキサメチレンジイソシアネート	30.9	0	0	0	0	0	0	0
トルエン	28.0	5.34	0	0	0	0.54	0	0
キシレン	9.0	0.395	0	0	0	0.54	0	0
有機スズ化合物	4.1	0	0	0	0	1.33	0	0
フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	3.9	0	0	0	0	1.15	0	0
ビスフェノールA型エポキシ樹脂	3.1	0	0	0	0	0.16	0	0

ヨコハマタイヤ・フィリピン

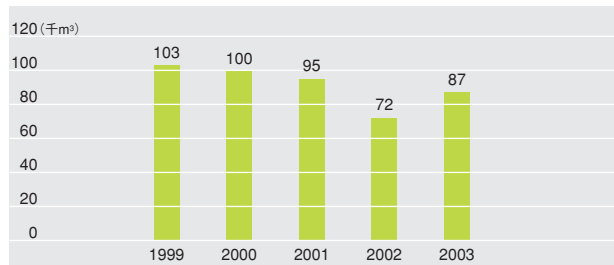
DATA

生產品目: 乗用車用タイヤ
 敷地面積: 165,000m²
 従業員数: 681人(2004年3月)
 所在地: I.E.5, Clark Special Economic Zone, Clark Field, Pampanga, Philippines
 TEL. 63-45-599-3603~9

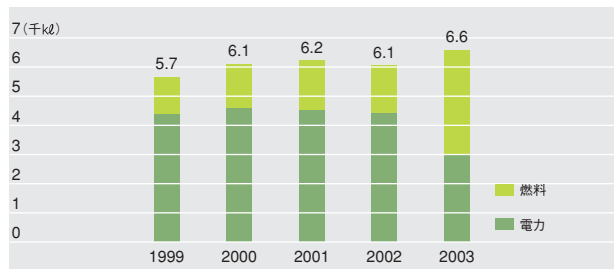
廃棄物発生量と生産高原単位



水使用量



エネルギー使用量(原油換算)*



CO₂排出量と生産高原単位*



* エネルギー使用量(原油換算)及びCO₂排出量は、環境省の算出方法変更に伴い、昨年の値と異なります。

※年度別業績値は1~12月で算出。

横浜ハイデックス

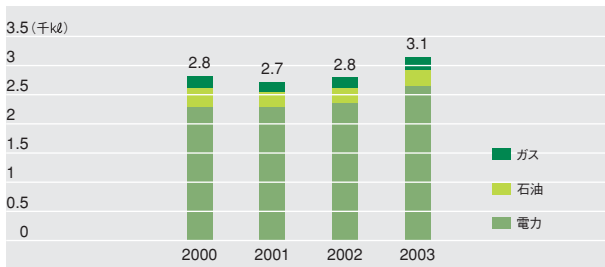
DATA

生産品目: 空調機器用カップリング、油圧ホース金具、油圧ホースアッセンブリー

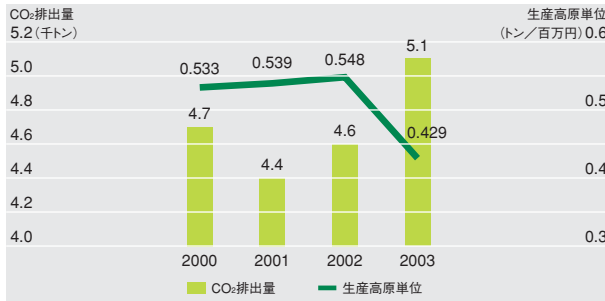
平塚事業所 敷地面積:16,026m² 従業員数:248人(2004年3月)
所在地:〒254-0016 神奈川県平塚市東八幡4丁目6番40号 TEL. 0463 (23) 0331

長野工場 敷地面積:22,275m² 従業員数:130人(2004年3月)
所在地:〒399-3102 長野県下伊那郡高森町吉田548番地 TEL. 0265 (35) 3211

エネルギー使用量(原油換算)*

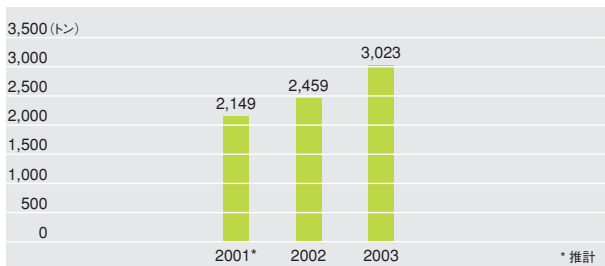


CO₂排出量と生産高原単位*



* エネルギー使用量(原油換算)及びCO₂排出量は、環境省の算出方法変更に伴い、昨年の値と異なっています。

廃棄物発生量



水質関係測定データ(主要排水)

排水口名	項目	規制値	2003年度実績		
			平均	最大	最少
平塚事業所*1 工場排水	PH	5.7~8.7	8.3	7.9	8.5
	BOD濃度(mg/l)	300	108	77	190
	SS濃度(mg/l)	300	48	11	72
	油分濃度(mg/l)	30	3.3	1未満	6.7
長野工場*2 工場排水	PH	5.8~8.6	6.8	—	—
	BOD濃度(mg/l)	160	17	—	—
	COD濃度(mg/l)	160	21	—	—
	SS濃度(mg/l)	200	9.8	—	—
	油分濃度(mg/l)	5	3.1	—	—

* 法律名称等:平塚市下水道条例、*2 法規制対象外(自主管理測定)、規制値は長野県条例

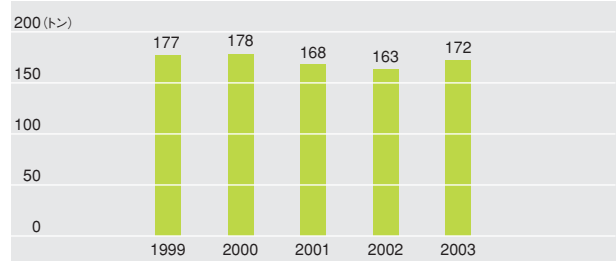
本社

DATA

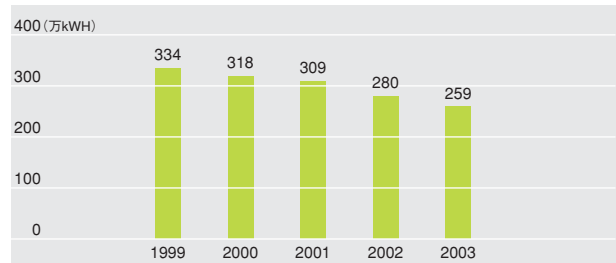
従業員数: 416人(2004年3月)

所在地: 〒105-8685 東京都港区新橋5-36-11
TEL. 03 (5400) 4531

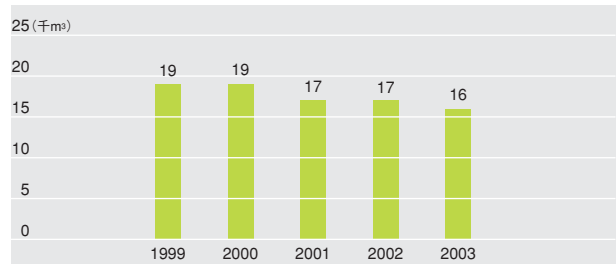
廃棄物発生量



電力使用量



水使用量



2003年度の成果

コピー用紙の再生紙使用100%維持
トナーカートリッジの75%を再生品に切り換え
事務用品グリーン購入実施67%(全社目標75%)

水使用量とBOD、COD排出量

水使用量(千m ³)	36
BOD*1(トン)	0.16
COD*2(トン)	0.19

※下水道へ直接排水している事業所は対象外

*1 生物化学的酸素消費(要求)量、*2 化学的酸素消費(要求)量

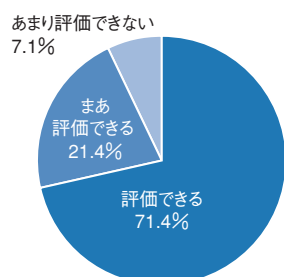
環境保護活動の歩み

1971	● 公害防止を目的に「環境改善部」を創立	1997	● 三重工場、大型脱臭装置を導入（第1期） ● 尾道工場、緑化モデル工場として「広島県知事賞」を受賞
1972	● 省エネルギー推進の会議体を設置	1998	● 「環境基本方針」「環境行動指針」「行動目標」を制定 ● 「タイヤのLCA（ライフサイクルアセスメント）」を開発 ● 三島工場、「ISO14001」の認証を取得
1974	● 生産事業所への排煙脱硫装置設置を開始 ● 尾道工場（無排水工場）完成 ● 平塚製造所、排水処理設備を備える廃棄物最終処分場を設置	1999	● 平塚製造所、三重／新城／尾道／茨城工場、「ISO14001」の認証を取得 ● 平塚製造所、「コージェネレーション」システムを導入
1975	● 平塚製造所、ボイラー脱臭装置が設置 ● 平塚製造所、表面処理廃水処理装置を設置 ● 「公害の手引き」を発行	2000	● 尾道／新城工場、エネルギー管理で「通産省表彰」を受賞 ● 「エコレポート」の発行を開始 ● ヨコハマタイヤ・フィリピン、「ISO14001」の認証を取得 ● 「エコプロダクツ」展への出展を開始
1976	● 「環境改善部」を「環境管理室」に名称変更 ● 平塚製造所、廃タイヤリサイクル実証プラントを設置 ● 平塚製造所、地盤沈下防止用水循環再利用装置を設置 ● 平塚製造所、低NOxバーナーを設置	2001	● 研究開発段階から有害化学物質を排除する「化学物質管理強化」を開始 ● 三重工場、ゴム臭気防止設備を導入（第2期） ● 三島工場、ボイラー燃料を重油から都市ガスに転換 ● 2005年度末達成を目標に「ゼロエミッション」活動を開始 ● 2000年度分から環境会計の公表を開始 ● 横浜ハイデックス、「ISO14001」の認証を取得
1992	● 「環境管理室」を発展・強化させ、名称を「環境保護推進室」に変更 ● 三重工場、廃熱利用式大型タイヤ焼却炉を設置	2002	● 三島工場、「地球環境保全功労賞」を受賞 ● YHアメリカ、「ISO14001」の認証を取得 ● 三島工場、「3R推進協議会会長賞」を受賞
1993	● 平塚製造所、ボイラー燃料を重油から都市ガスに転換（第1期） ● 「環境行動計画」を策定、地球温暖化対策、廃棄物削減などを行動目標化	2003	● ヨコハマタイヤ・フィリピン「コージェネレーション」システムを導入 ● 新城工場、「資源エネルギー庁長官賞」を受賞 ● ヨコハマゴム・タイ、「ISO14001」の認証を取得 ● 三重工場、「3R推進協議会会長賞」を受賞 ● 平塚製造所、三島／尾道／茨城工場、「ゼロエミッション」を達成
1994	● 平塚製造所、ボイラー燃料を重油から都市ガスに転換（第2期） ● 天然ゴムの梱包材を木枠から鉄製枠の通い便方式へ変更 ● 平塚製造所、特定フロンから代替フロンへの転換を完了	2004	● 三重／新城工場、「ゼロエミッション」を達成
1995	● 「環境の手引き」を発行 ● ポリエチレンリサイクルで1995年度「リサイクル推進協議会会長賞」を受賞 ● 平塚製造所、「1.1.1-トリクロロエタン」の使用を廃止		
1996	● 三重工場、1996年度「リサイクル推進協議会会長賞」を受賞 ● 平塚製造所、廃タイヤ再利用で「かながわ地球環境賞」を受賞		

アンケート結果

「エコレポート2003」に添付したアンケート用紙を使って、読者の皆さまから様々な声が寄せられました。整理した内容と主な声を下記にご紹介します。なお、アンケートを寄せられた方は全14名でした。

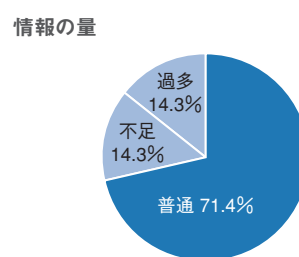
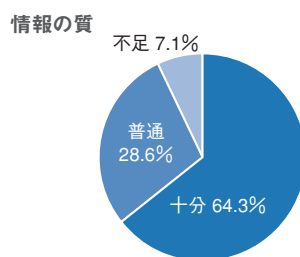
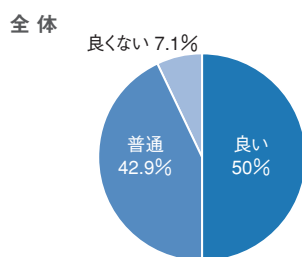
横浜ゴムの環境への取り組みに対するご感想



自由記載による主な内容

- 環境保全の取り組みが具体化され、実績、会計の公表により透明性がある。
- ゼロエミッションが着々と達成されつつある。
- 省エネ、リサイクル、廃棄物、商品開発とまんべんなく取り組んでいる。
- 廃棄物発生量が減少し、リサイクル率が向上している。

「エコレポート2003」のご感想



興味を持った内容

タイヤリサイクル	8	環境経営の概要	4
生産段階での環境保護への取り組み	7	グリーン購入	4
環境性能に優れた商品	7	環境会計	3
環境行動計画と実績	6	サイト情報	3
環境負荷の全体像	5	その他(ごあいさつ、環境基本方針など)	8
タイヤの設計・開発	5		

※数字は人数(複数回答)

主なご要望

- ① タイヤ以外の商品リサイクルの状況を知りたい。
- ② 環境ホルモンへの対応、新エネルギーに対する考え方を知りたい。
- ③ 業界ではなく、横浜ゴムとしてのタイヤリサイクルデータを知りたい。
- ④ 環境適合商品の販売比率、グリーン購入比率を知りたい。
- ⑤ ISO14001の認証を取得した各サイトごとの活動状況を知りたい。
- ⑥ レポートに対する第三者の意見が欲しい。

「エコレポート2004—社会・環境保護活動のご報告」では、上記ご要望の①～④について記載するよう心がけました。他のご要望については、次号以降での掲載の可否について検討いたします。ご協力ありがとうございました。